

1.長期成長ビジョン

今後増加が見込まれ、かつ建設廃棄物のリサイクル率向上の阻害要因である石膏ボード廃棄物（以下、廃石膏）の100%水平リサイクル事業を主軸とし、本コンソーシアム企業が中心となりメガ資源循環アライアンスを組成することで持続可能な建設業界の実現を目指します。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

- ・ 幹事企業(株)GYXUS（以下、当社）は、「地球に埋めない、世界を創る」をミッションに掲げ、世界の廃石膏のリサイクルを通じて、持続可能な循環型社会の実現を目指している。
- ・ 廃石膏は一部地域を除いて大半が埋立処分されている。当社は廃石膏を用いて高品質な100%リサイクル石膏ボードを再製造（以下、水平リサイクル）する特殊技術を保有している。
- ・ 建設現場から発生する廃石膏を安定的に受け入れる地産地消体制を全国に構築し、リサイクル率を向上させる廃石膏地産地消型資源循環モデルを確立させる。
- ・ 同時に金属や木材など他の建設廃棄物も一括処理可能な体制を整え、顧客利便性を高める。人材不足の国内で成長するには、動脈・静脈事業の連携が必要であり、解体業者、廃棄物処理業者、大手建材販売事業者とコンソーシアムを組成し、7年後に年間700億円規模のメガ資源循環アライアンスを目指す。

※本事業期間では、アライアンス最大の強みとなる「廃石膏地産地消型資源循環モデル」を確立する事に重点投資を行う。

外発的動機

- ・ 現在の廃石膏再資源化率は約40%にとどまり、2025年には200万トン、2039年には350万トンを超えると廃棄量の増加が予測されている。産業廃棄物埋立処分場の残容量は1億7000万m³程度であり、廃石膏のリサイクルは喫緊の課題。
- ・ 石炭火力発電所等の副産物である化学石膏は、石膏ボード原料として利用されてきたが、カーボンニュートラルへの移行により火力発電縮小が進み、供給減少が予想される。海外天然石膏比率が高まり石膏ボード価格の乱高下が懸念される。
- ・ 廃石膏のリサイクル率が高い地域は建設廃棄物全体のリサイクル率が高い。全国の廃石膏リサイクル率を向上させる事が全体を押し上げる事につながる。

内発的動機

- ・ 当社代表取締役の平田富太郎は、大手石膏ボードメーカーチヨダウーテの創業家で、同社の専務執行役員を務めていた。また日本最大級の廃石膏中間処理業者である株式会社トクヤマ・チヨダジプサム（TCG）の設立・経営にも携わった経験から、静脈事業（廃棄物処理）と動脈事業（製品生産）の両面に精通している。
- ・ 動脈と静脈の有機的連携によりリサイクル率や労働生産性が向上する現場を数多く経験し、培った知見と人脈を活用して本ビジネスモデルを構築した。

売上成長目標

単位：百万円	GYXUS	KOSEI GYXUS	光州産業	GYXUS 関東	グラデュオ	沖潮開発	合計
直近決算期	43	0	8,097	0	151	2,051	10,342
基準年度+3年後	4,677	337	9,732	275	595	2,733	18,349
売上高増加額	4,634	337	1,636	275	445	682	8,007
売上高成長率	376.3%	-	6.3%	-	58.1%	10.0%	21.1%

賃上げ目標

補助事業開始以降、幹事企業、コンソーシアム企業それぞれにて毎年7%以上の賃上げを実施する。

2.補助事業の概要

廃石膏地産地消型資源循環モデルを推進し、最終処分場の延命、リサイクル率向上を実現しながら、動脈事業と静脈事業を有機的に連携させ、労働生産性を向上し従業員の給与へ還元します。

補助事業の
背景・目的

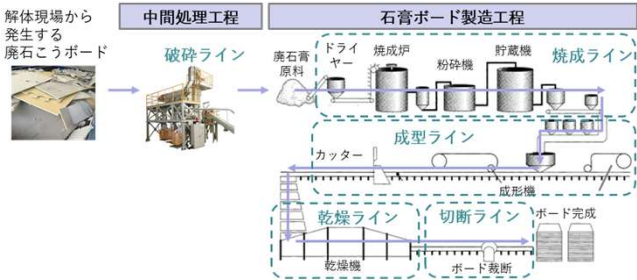
- 石膏ボードはリサイクル率が低く、多くが最終処分場にて埋立処理されており、今後最終処分場がひっ迫する社会的問題、またカーボンニュートラルに向けて火力発電の縮小に伴い、化学石膏の減少、天然石膏の価格高騰による石膏ボード価格が上昇する現状を解決するため、リサイクル石膏を主原料100%とした石膏ボードを製造し、社会的課題の解決を行う。

事業費
(補助額)

98億円
(26億円)

設備投資の
内容

投資内容	導入拠点	金額(税抜)
破碎ライン	4	6.5億円
焼成ライン	5	8.9億円
成型ライン	5	9.6億円
乾燥ライン	5	10.5億円
切断ライン	5	8.1億円
工場建物	5	33.6億円
合計		77.2億円



- 廃石膏ボードの多くが埋立処理される中、本設備投資により石膏ボードの水平リサイクルすることができ、循環型社会の形成に大きく貢献できます。
- これまで中間処理し、埋め立てる最終処分のためにコストがかかっていましたが、埋め立てる代わりに石膏ボードを製造することで、新たな付加価値を生む取り組みとなっており、労働生産性は向上します。

目標値

労働生産性	GYXUS	KOSEI GYXUS	光洲産業	GYXUS 関東	グラデュオ	沖潮開発	合算
基準年度(千円)	16,438	△13,128	9,609	△3,516	799	110	6,751
基準年度+3年後(千円)	47,918	16,643	13,040	12,641	16,151	13,092	26,511
年平均上昇率	42.9%	-	10.7%	-	26.4%	392.0%	57.8%
従業員1人あたり給与支給総額	GYXUS	KOSEI GYXUS	光洲産業	GYXUS 関東	グラデュオ	沖潮開発	合算
基準年度(千円)	4,905	4,200	4,893	4,200	4,494	4,200	4,655
基準年度+3年後(千円)	6,012	5,145	5,999	5,145	5,505	5,145	5,690
年平均上昇率	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%
役員1人あたり給与支給総額	GYXUS	KOSEI GYXUS	光洲産業	GYXUS 関東	グラデュオ	沖潮開発	合算
基準年度(千円)	-	-	-	-	-	-	-
基準年度+3年後(千円)	-	-	-	-	-	-	-
年平均上昇率	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
補助事業に係る従業員数	GYXUS	KOSEI GYXUS	光洲産業	GYXUS 関東	グラデュオ	沖潮開発	合算
基準年度(人)	14.0	2.0	2.5	0.3	9.0	5.0	32.8
基準年度+3年後(人)	38.0	8.0	24.0	6.0	11.0	11.0	98.0
年平均増加率	39.5%	58.7%	112.5%	162.1%	6.9%	30.1%	44.0%